男鹿のなまはげ伝説　（一）

男鹿市北浦相川　　鎌　田　勇　吉　（６５才）

昔、漢の時代に五匹の鬼が上陸したど。髪は縮れて、目玉が青い、背が大きい、言葉も通じなかったど。「これは鬼だ」と部落の人が騒ぎ回ったので、その鬼たちは真山さ逃げでいったど。

真山にたてこもって、正月の十五日の晩だけ、時の大将なっていた鬼が一晩中部落にきて、いろいろ暴れ回ったど。部落の人は、許してくれと、酒を飲ませたり一晩いろいろなことをして帰ってもらったど。

それが、正月の十五日の晩に毎年あったど。その後、鬼どもは、年がいって死んでしまったど。